

2025 12/9

No.2248

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
— 神奈川政経懇話会 —



小田急電鉄は箱根登山線・小田原―箱根湯本間で11月27日から運行する新デザインの赤い車両を海老名電車基地で報道陣に公開した。2026年3月上旬までに順次変更する。



contents

視点・点描	3
広域・分散開催の意味	
特集	4
「カスハラ対策法」義務化前に考える 本当に従業員を守るための 〆予防の心構え、とは	
経済双眼鏡	8
造船業界への1兆円規模のテコ入れ策 かつての疑獄を想起する危うさ	
サヘル・ローズ×リアルワールド	9
「この世界は、まだ美しい」	
くらし2025	10
問われる有料老人ホームの「質」 登録制の導入で規制強化へ	
本郷和人 歴史の舞台をゆく	12
「但馬の小京都」出石の町並み	
かながわTODAY	14
11月の主な経済ニュース	

事務局だより

◇2026年1月定例講演会

1月15日(木)

午後1時30分～午後3時

神奈川新聞社12階大会議室(横浜市中区)

講師：文芸評論家 三宅香帆氏

演題：なぜ働いていると本が読めなくなるのか

◇2026年2月特別講演会 (講演・交流会)

2月18日(水)

午後3時30分～7時10分(予定)

ホテルニューグランド(横浜市中区)

講師：富士フイルムビジネスイノベーションジャパン取締役常務執行役員・CTO 鍋田敏之氏

講師：バドミントン北京オリンピック日本代表 小椋久美子氏

【お知らせ】会報「政経かながわ」に会員企業の新商品の紹介、地域貢献活動、人事などジャンルを問わずさまざまな会員情報を掲載しています。掲載の問い合わせなどは事務局 ☎045 (226) 2121。

視点 点描



広域・分散開催の意味

「例えてみれば、東京から新幹線で新潟に出て、そこから仙台にバスで向かうようなものです」。

先日開かれた、ミラノ・コレティナ冬季五輪・パラリンピックの報道説明会で、担当者が発した言葉が印象に残っている。両都市間は鉄道を乗り継いで5時間余りを要する。代替手段はないと聞く。報

道する側からすると（もちろん観客にとっても）、一日で掛け持ちするのは実質的に不可能だ。

大型のスポーツイベントが、経済的・環境的負担として開催都市に重くのしかかることがクローズアップされるようになって久しい。かつては都市にとっての名誉や開発促進、知名度向上といった

きらめく側面が強調されたが、隔世の感がある。

2～3月のこの大会にとどまらず、6～7月のサッカー・ワールドカップ（W杯）はさらに広域だ。会場はアメリカ、カナダ、メキシコの3カ国に及び、北米大会とか北中米大会と称される。16カ所ある会場間の移動にいったいどのくらい時間がかるのか。2002年の日韓共催は両国の親善を深める要素が強かったが、今回はそうした機運とは少し趣が異なる。

世界的なスポーツイベントが立てつづけに広域・分散開催される2026年は一つの画期になるかもしれない。

今日的な意味で言えば、分散開催のメリットは大きいだろう。巨大スタジアムや選手村の新設が不要になりやすく、コスト削減やレガシー（遺産）活用のハードルが下がる。交通混雑・宿泊不足・治

安対策の負荷が分散する。観光消費が散らばることで、多くの都市にとつての地域プロモーションにつながる。多文化共生や国際交流を幅広い地域に演出することができる。

身近なところで言えば、国民スポーツ大会（旧国民体育大会）や全国高校総体（インターハイ）はすでに広域開催が珍しくなくなった。ちなみに2027年のインターハイは南関東開催で、神奈川も陸上、体操、バスケットボール、相撲、自転車といった競技が予定されている。ほかに東京、千葉、山梨が主催地だが、一部競技は福島や和歌山にまで分散される。

多くの競技を一堂に会して開催する意味って何なのだろう。こうなってくると、大会の存在意義そのものが問われてくる気がする。

（神奈川新聞社運動部長

島山 卓也）